

2023年10月号



9月16日に南知多町総合体育館で行われた第2回南知多町福祉敬老フェアに参加しました。

あい寿の丘、みなみ苑のご利用者が各ブースを回ってゲームに参加して「ゲームでお菓子が取れた。おやつができたわ」と喜んでみえました。



また、映画の上映もあり、鑑賞されたご利用者は「重いテーマだったけど前向きに頑張ろ」と仰っていました。

社会福祉法人南知多としてブースを設け、そこでは車いすの体験や技能実習生が母国（インドネシア）の紹介をクイズ形式で行いました。



あい寿の丘「敬老の日」

9月15日の敬老の日に、77歳の喜寿、80歳の傘寿、88歳の米寿、90歳の卒寿、99歳の白寿になられた方にメダルを作ってお渡しました。

メダルを首から下げて記念撮影「嬉しいわあ」「えっ、もうそんなに年取ったかしら」「立派なメダルを作ってくれたんだね」と嬉しそうにされていました。



あい寿の丘「習字のお稽古」



10月に行われる南知多町文化展に出品する作品のために習字の練習を行いました。

お題は秋のイメージということで筆を持たれたご利用者は、「久しぶりでうまく書けるかしら?」「菊の字は大輪の菊の花をイメージして書こう」「コスモスはこちらの方が上手く書けたわ」など楽しそうに筆を運んでいました。



みなみ苑「敬老会」

9月18日みなみ苑で敬老会を行いました。お昼ご飯を兼ねた敬老会で、豪華な「揚げたての天ぷら」を用意しました。

ご利用者が席について揚げたての天ぷらをお出ししました。「熱いので気をつけて下さいね」と言った先から「熱っ」と言いながら召し上がって見えました。「うれしいね」「おいしいね」「お腹いっぱい」「まだ食べれそうだけど、この辺で止めとくか」と食欲満載で喜んでいただきました。



そよかぜデイサービスセンター「招き猫」

ご利用者の健康長寿を願い、「招き猫」を作りました。紙粘土で作った招き猫に、好きな色を選んで塗り、最後に願いを込めて顔を書き上げて完成です。それぞれ個性あふれる立派な招き猫が出来上がりました。



そよかぜデイサービスセンター「敬老会」

そよかぜデイサービスセンターの敬老会は、いつもと違う気分を味わって頂こうと、「喫茶店」を開きました。メニュー表からお好きな飲み物を選んで頂き、和洋折衷のおやつと一緒に提供しました。

いつもと違う雰囲気にご利用者同士の会話が弾み、「またやってほしいね」と喜んでみえました。



南知多町デイサービスセンター「敬老会」

南知多町デイサービスセンターの敬老会に、三味線とバンド演奏の慰問がありました。

昔懐かしい曲を三味線の伴奏で歌ったり、バンド演奏でジャズが流れると、いつものデイサービスとは違う雰囲気となり、きれいな歌声に涙を流しているご利用者もみえました。職員による、踊りや手品もあり、まさに芸術の秋にふさわしいものとなりました。

ご利用者は、「生の演奏を始めて聴いた。よかったよ」ドラムの演奏を見て、「手と足がよく動いてすごいね。私はあんなに動かん」と驚かれています。



南知多町デイサービスセンター「壁面 秋の夕暮れ」

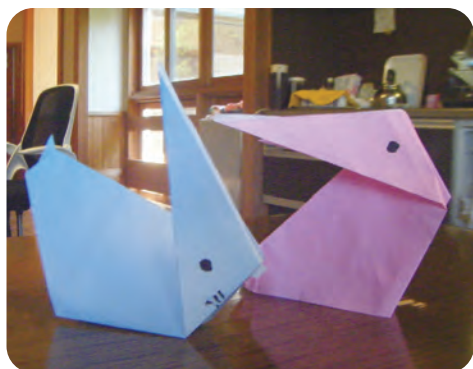
夕暮れ時、赤とんぼが飛び、すすきの穂が揺れているコスモス畑の上に丸い月が浮かんでいる秋の風景ができあがりました。

ご利用者は、色画用紙で出来たコスモスの花びらを丘に見立てた台紙に貼りつけ、ビニール紐を裂いてすすきの穂を作り、壁に飾り付けました。「コスモスが増えたね」「赤とんぼを貼ったんだね」と出来上がった壁面を見てご利用者同士お話されていました。



ひだまり「折り紙」

お月見前に、ご利用者と一緒に折り紙でうさぎを折りました。うさぎに折った折り紙に目を入れる際に、息を止めマジックでクルクルと真剣な表情で描いては満面の笑みでした。「髭もあった方がいいね」と言いながら、とても可愛くできました。



ひだまり「作品作り」

南知多町文化展用にトイレットペーパーの芯を再利用して壁飾りを作りました。トイレットペーパーを半分につぶした物を6等分に切ります。そして片方の先を内側につぶして花びらの形にします。5枚をホチキスで止め完成です。たくさん作って花が舞うように飾り付けます。

トイレットペーパーをつぶすことも花びらの形にすることもご利用者はお手の物でしたが、職員は四苦八苦しながら作っていました。

